

売上収益

1,294億円 前期比 **9.7%減**

2014年5月に上市した2型糖尿病治療剤「フォーガ錠」や同年9月に上市した悪性黒色腫治療剤「オプジーボ点滴静注」など新製品の寄与が見込まれるものの、後発医薬品使用促進策の影響は引き続き想定を上回って推移しており、通期の売上収益は、前期比139億円(9.7%)減の1,294億円を予想しています。

営業利益

131億円 前期比 **50.4%減**

製品構成の変化による売上原価の増加が想定される一方で、販売費及び一般管理費の減少を見込んでおり、通期の営業利益は、前期比133億円(50.4%)減の131億円を予想しています。

税引前当期利益

157億円 前期比 **46.7%減**

営業利益の減少と低金利の継続による金融収支の悪化などが見込まれることから、通期の税引前当期利益は、前期比138億円(46.7%)減の157億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

109億円 前期比 **46.4%減**

税引前当期利益の減少による法人税等の税金費用の減少が見込まれますが、通期の親会社所有者帰属分の当期利益は、前期比94億円(46.4%)減の109億円を予想しています。